

キャラクター名
二階堂 仁 (にかいどう じん)

プレイヤー名

シンドローム	モルフェウス ハヌマーン		ワークス	UGN支部長B	カヴァー	研究施設の職員
	オプショナル		年齢	35	性別	男
覚醒	死	衝動	殺戮	初期侵食率	36	%
出自		経験		邂逅		

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	25
肉体	2	0	0			2	行動値	9
感覚	3	1	0			4	(非装備時)	9
精神	1	0	0			1	戦闘移動	14
社会	2	0	0			2	全力移動	28

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	1		RC			交渉		
回避	1		知覚	1		意志			調達	1	
運転:			芸術:			知識:			情報: UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
二階堂 えり	P 庇護	N 不安		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 6 残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
インフィニティウエポン	1	3	マイナー	至近	自信	-	-	
効果: 近接武器作る								
魂の錬成	1	4 d 10	オート	至近	自身	-	120	
効果:								
ハンドレッドガンズ	1	3	マイナー	至近	自身	-		
効果: 射撃武器作る								
サイレンの魔女	1	5	メジャー	視界	シーン(選択)	<RC>	-	
効果: 周囲全域に周波数の攻撃を加える攻撃								
残像	1	3	リアクション	至近	自信	回避	-	
効果: 高速移動によって分身を作り出し攻撃を回避する								
コンセントレイト	1							
効果:								
	1							
効果:								
	★							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

名前 二階堂 仁 (にかいどう じん)
 35才 男 白髪の隻腕。
 今は何してるの？
 ワークス: UGNの支部長: 町でオーヴァード関連の事件の解決などをしている
 カバー: 研究施設の職員: UGNに入った後娘に何の仕事してるのと言われて苦し紛れの言い訳から出来た。
 今は過去の出来事を悔い今までの仕事からは完全に手を引いた。オーヴァード関連の事件関連の解決を行っている。多彩な武器を使いつつ、素早く近づき致命傷を負わせる。なるべく、死者を出したくないがどうしても無いときは全力を持って速やかに仕留め。彼らがこれ以上、罪を重ねないように。ただし、これらは娘の為であり、娘が危機に陥ったり、自分が娘の記憶を失うことは全力で避ける。
 行動じたいは積極的にはいかないが気になったことだけは自分が出る。普段は割とラフだが、真剣な時は比較的静かになる。

とある仮面の男の物語。
 その男には髪が雪のように白いてもとてもかわいい娘がおりました。母は娘が幼い時に亡くしており2人だけでした。それでも、2人で貧しいながらも力強く幸せに暮らしていました。しかしあるとき、ああなんていうことだろ。神はなぜこの子の身に余るほどの苦痛をこんなにも与えるのだろうか、男は嘆きました。娘は難病にかかってしまったのです。娘の病を治すには大金が必要だった。金を貸してくれる心当たりのあるところは全て行ったがだめだった。人や神は助けはくれなかった。娘の命の天秤は傾き続けている。男には時間が無かった。殺人、窃盗、誘拐、密売、悪魔に魂を売り渡すかのように金になる事なら何でもやった。問うべきは手段では無い。その男にとって目的こそが全て切実な現実。彼には金が必要だった…傾き続けてゆく天秤その左皿が沈み切る前に力づくでも浮き上がらせるだけの金が右皿には必要だった…そして…その夜も天秤は仮面を躍らせた。その仮面の男はある時を持って姿を見せることは無かった。人はしくじって死んだや、娘とともに旅立たとも言われているが現実は何の中。

10年前の出来事
 私はいつものように仮面と黒いコートを着て依頼人の元に向かった。今回の依頼とはある施設から重要な資料をとって来いというものだった。マフィアや国の